

蛸み蛸み通信

尚林庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町 1096-3
Tel:042-622-8840

VOL. 3

やっぱり緑の庭が好き

土壌改良で樹木の再生

桜もすでに終わり、少し湿り気をおびた夏の気配が庭を支配しはじめました。今年の春先は雨が多い天候でした。こんな異常気象ばかりが原因ではないのでしょうか、祖父が大事にし、六十年も元氣だった桜なのに、この頃葉が黄色になった。花つきが悪くなった。の声をよく耳にすることが多くなりました。

土壌改良の手順 ①

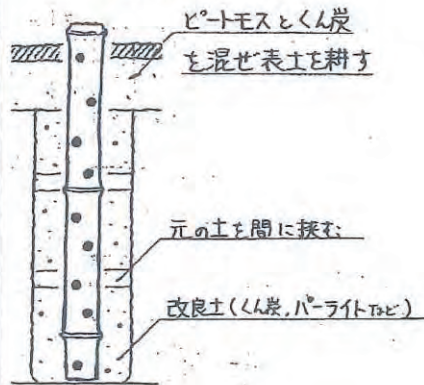
改良土づくり

松：くん炭、木炭、赤玉土
その他の木：くん炭、木炭、赤玉土、肥料（溶り、堆肥）など



節も抜き 約1cmの穴も9割空けた位

土壌改良の手順 ②



豊かな緑に囲まれた庭で過ごす時間は、潤いを与えてくれるばかりではなく、グリーンライフの理想です。今回は、樹木が本来もつ自然治癒力を応用し、根に十分な酸素を送ると共に土壌を改良して樹木の回復に効果を上げてきた方法をご紹介します。次号で紹介しようと思ってる樹勢回復が、いわば外科的手法に対して、どちらかといえば今回は、内科的手法による実証レポートといえるでしょう。その手順は、図の如くであります。

土壌改良の実例 H邸の松

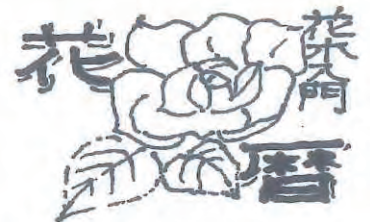


写真② 仕上げ



写真① 穴を掘る

土づくりには図の他に、パーライトやバーミキュライト、米ぬかなどを用いた実証もあります。とくに気を付けた点は、やはり根を傷めないこと。とくに密植されたものは目的の樹木ばかりでなく、他の木に影響を与えないよう、細心の注意。肥料については、木の様子を見ながら、時には肥料を抜くことも、花木には、花肥として有名な溶リンを加えることも……。



葉のつき方には、図①の様な葉が交互に出る、ごく一般的なものや、カエデ類を代表とする茎の同じ箇所から腕を広げるように分枝する図②の対生は、日頃

からよく目にするかと思いません。でも、図③のように交互に二枚ずつ葉が出る、変わりものを見たことがありますか？……。山に登ることを趣味にする人は、林下や谷間などに、枝や葉に特有の臭気をもつミカン科のクワサギを目にしたことと思います。

庭木では、分かりにくいですが、サルスベリがこの代表です。今回は、何事にも順序があるという話でした。

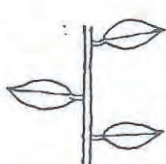
今回は紙面の都合上編集後記は省略します。



図③二列互生



図②対生



図①互生